

造園・景観計画学特論 (2単位)

担当者氏名 麻生恵・鈴木誠

◆学習・教育目標

計画学は、多くの応用科学がそうであるように、科学・技術・文明を応用し、人間の社会・精神・文化・歴史を十分踏まえ、より豊かな人間生活の具現化を目指す学である。具体的には、時代や社会の要請（ニーズ）を把握し、目標や課題を設定し、その実現や解決への方策を探索する学問ということもできる。この特論では、造園・景観計画の基本的概念の整理を行う一方、造園・景観計画の具体について、各種事例を通して講述する。また、造園・景観計画のあり方、要素、組み立て、手順について考えるとともに、事例分析を通して課題や問題の発見と設定、理念と具体化の方向、実現への戦略、戦術的展開についての修得を図る。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

調査・分析	計画理念	計画の方法	造園計画
景観計画	地域計画	まちづくり	国土計画

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	ガイダンス	授業のねらい、方法、スケジュール、評価の方法等	
2	造園・景観計画の基礎	造園・景観計画の概念、計画のあり方、要素、組み立て、手順、方法	
3	(第2～3週)		
4	造園・景観計画の展開	計画理論の応用的展開（庭園計画から公園計画、まちづくり、地域景観計画）	
5	(第4～5週)		
6	造園・景観計画学の研究	研究の視点、方法、解析手法等	
7	方法（第6～7週）		
8	計画事例の紹介（第8～	各種計画（庭園～都市地域～自然地域）の事例分析	
9	12週）	（特別講師による計画実務の紹介を含む）	
10			
11			
12	計画事例の現場視察（第	現地見学会	
13	13～14週）		
14			
15	まとめ	レポート作成	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

授業中に適宜紹介

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

地域環境科学概論/東京農大地域環境科学部編/理工図書（2002）

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

課題提出（50%）、オリジナルノートの作成提出（50%）

◆その他受講上の注意事項